

2022/9/18 (日)
14:00~16:00 (開場13:30)

場所/塩尻市市民交流センター
(えんぱーく)

3階・多目的ホール

定員/60人 (先着順)

参加費/無料

文芸取材の

流儀

【申し込み】

申込開始 : 8月7日(日)

本館総合カウンター、メール、
電話 (0263-53-3365) のいずれか。
メールの場合は次の内容をお送りください。

- 宛先 tosho@city.shiojiri.lg.jp
件名 「9/18 本の寺子屋申込」
本文 1 参加者全員の氏名(フリガナ)
2 代表者電話番号
3 お住まいの地区
4 この講演会を知ったきっかけ

講師

加古陽治 (かこ ようじ) 東京新聞編集委員

1962年愛知県生まれ。東京外国語大スペイン語科卒。1986年中日新聞社(東京新聞)入社。教育担当、司法キャップ、文化部長、編集局次長などを経て編集委員。福島第一原発事故発生直後から原発取材班の総括デスクを務め、取材班は第60回菊池寛賞を受賞。金子兜太、いとうせいこう両氏が選ぶ「平和の俳句」(平和・協同ジャーナリズム基金賞大賞)の担当責任者。現在、一枚の写真、一首の短歌から背景をたどる「一枚のものがたり」「一首のものがたり」などの連載を担当。著書、編著書に『一首のものがたり 短歌が生まれるとき』(日本歌人クラブ評論賞)、『真実の「わだつみ」 学徒兵木村久夫の二通の遺書』、共著に『レベル7 福島原発事故、隠された真実』『原発報道 東京新聞はこう伝えた』など。佐佐木幸綱氏主宰の「心の花」同人の歌詠みでもある。